8/20 地域農業の未来を考える 農業技術研修会

農業技術研修会が、アグリ館とれたで開かれました。胆振総合振興局の牧野充局長が「これからの西胆振の農業展望」と題して講演。道内のスマート農業の導入事例などを挙げ、低コストで高い生産性を実現する新しい農業のあり方を解説しました。

今年2月に友好都市の香川県三豊市の農家を視察したJAとうや湖青年部の報告もあり、農産物の付加価値向上の取組などを紹介しました。


今後の農業の在り方を考えた農業技術研修会

8/26 誰にでも優しい避難所とは 男女共同参画講演会

災害弱者にならないためにどうすべきかを学ぶ男女共同参画講演会が役場防災研修ホールで開催されました。

「使いこなそう！新しい防災気象情報」と題して、北海道防災教育アドバイザーの住友静恵氏を講師に招きました。

今年の5月に見直された防災気象情報の変更点や大雨や土砂災害などの災害別にどのような情報を活用して避難行動をとるべきかを詳しく解説しました。


防災気象情報の活用を学んだ講演会

9/1 演劇の基礎を学ぶ 洞爺中が演劇WS

洞爺中学校（内山勇一校長）が演劇ワークショップ（WS）を行いました。20日に行われた学校祭での演劇発表に向け、表現力やコミュニケーション能力、創造力の向上を目的に実施しました。

北海道演劇財団を講師に迎え、声や身体を使った表現や、相手の動きを意識したコミュニケーションなどの直接指導を受けました。自分自身の表現の可能性を探りながら、自信を持って挑戦し、意欲的に学びました。


身体を使った表現に取り組む生徒たち

9/1 町の施設を使いやすく 道路工業に感謝状贈呈

町内施設のアスファルト舗装などの地域貢献を行った道路工業（札幌市）に対し、町が感謝状を贈りました。

同社は、洞爺総合センター、洞爺総合支所敷地内のアスファルトの舗装・補修作業を無償で行い、適切な公共施設の維持・管理に貢献しました。

贈呈式で、下道町長から感謝状を受け取った北野広一郎工事主幹は「今後も地域貢献を続けたい。機会があればボランティアで行います」と話しました。


感謝状を受け取った北野工事主幹（左）

9/4 町施設の維持管理に貢献
豊浦建設工業に感謝状

金比羅火口災害遺構散策路の草刈りボランティアを行った豊浦建設工業（金丸淳代表取締役社長）に町が感謝状を贈呈しました。

同社は地域貢献活動の一環として昨年から実施しています。

役場で行われた贈呈式で下道町長から感謝状を受け取った金丸代表取締役社長は、「感謝状をいただきありがとうございます。洞爺湖町の環境美化のために今後も続けていきたいです」と話していました。


感謝状を受け取る金丸代表取締役社長（左）

9/9 新しい友だちができたかな？
交流保育で製作体験

来春、統合する本町保育所、入江保育所、桜ヶ丘保育所の交流保育が、ウトゥラノで行われました。

好きな絵や、アイヌ文様を描いたオリジナルのバッグ作りを行いました。好きな色のクレヨンやスタンプを使い、手提げバッグを色鮮やかに飾った子どもたちの顔には満面の笑み。他の保育所の子どもともバッグを見せ合い、楽しげな声を上げていました。


バッグの製作を楽しむ子どもたち

9/10 五感で知る洞爺湖の魅力
虻高がカヌー体験

虻田高校（佐々木雅治校長）の1年生が、洞爺湖カヌー体験を行いました。講師の洞爺ガイドセンター代表、小川裕司さんからパドル操作を学んだ後、浮見堂公園を発着地として1時間半の体験をしました。

生徒は湖上で洞爺湖の成り立ちやジオパーク、縄文時代からの歴史の説明を受け、自然環境や観光資源について学びました。活動内容はホームページで閲覧できます。


カヌーを体験する虻高の生徒

9/13 磨いた歌や踊りを披露
けっぱれ芸能まつり

第1回洞爺湖町けっぱれ芸能まつりが、虻田ふれ合いセンターで開かれました。

同センターの音響設備が一新されたことを記念して行われ、町内の歌謡教室や同好会、音楽グループなどが24演目を披露しました。

清水友愛の里の琴クラブ風雅が演奏する「荒城の月」で開演。日本舞踊や、90歳代の出演者の歌唱などもあり、来場者はこの日のために練習を重ねた演目の数々を楽しんでいました。


歌声を響かせる出演者